



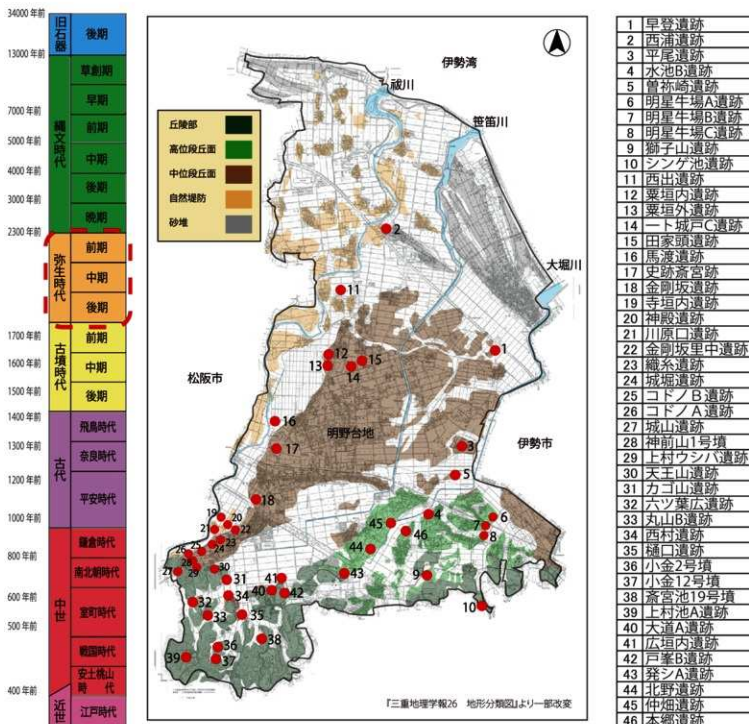
明和町内の弥生時代の遺跡は、現在 46 箇所あります。

前期では、はらいかわうかん 祓川右岸の明野台地西端の河岸段丘沿いにある金剛坂遺跡やコドノB遺跡で竪穴住居跡が見つかっています。中でも金剛坂遺跡では遺跡の中央部で二重の環壕かんこうが見つかっており、大規模な集落が形成されていた可能性があります。

中期では、齋宮跡（古里地区）において、竪穴住居跡や方形周溝墓ほうけいしゅうこうぼが多数見つかっています。金剛坂遺跡では中期後葉から後期前葉にかけて方形周溝墓ほうけいが盛んに作られ墓域が形成されるものの、住居の痕跡は見つかっておらず生活域は不明です。

後期では、玉城丘陵から派生する微高地上に立地する北野遺跡で、100 棟以上の竪穴住居跡が見つかっており、大規模な集落が形成される反面、墓域の形成は乏しい状況です。

後期から古墳時代初頭にかけては、金剛坂遺跡より南の台地縁辺部で方形周溝墓が多数造営されます。



～明和町内の弥生時代の動向（集落と墓域）～

